

鉄道駅バリアフリー料金制度の活用について Q & A

Q 1. 鉄道駅バリアフリー料金（以下、バリアフリー料金）制度とはなにか？

A 1. 鉄道駅のバリアフリー化を加速させる目的で国土交通省が新たに定めた、お客様から一定額のご負担を得て、バリアフリー化の整備に必要な原資を確保する制度です。

Q 2. バリアフリー料金を必要とする理由は？

A 2. 当社において、バリアフリー設備を整備するための費用は、2035年度までに約900億円を超える見込みです。その整備をより迅速かつ着実に進めるため、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用させていただくこととしました。

Q 3. どのように徴収するのか？

A 3. 現行の運賃にバリアフリー料金を加算する形で頂戴します。

Q 4. バリアフリー料金適用後の運賃はどうなるのか？

A 4. 別途掲出しております「普通運賃・その他料金」および「定期運賃（通勤・通学 1・3・6か月）」をご参照ください。

Q 5. 阪急の第2種区間（神戸高速線）はこの料金を設定しないのか。

A 5. 神戸高速線では2023年時点においては料金を設定いたしません。

Q 6. 他社もこの料金を設定するのか。

A 6. 他社の適用状況については、各社へお尋ねください。

Q 7. 前回の値上げ（運賃改定含む）実施はいつだったのか？

A 7. 2019年10月1日に、消費税増税（8%→10%）にともない、運賃改定を行いました。
その前は2014年4月1日に、消費税増税（5%→8%）にともない、運賃改定を行いました。

Q 8. 通用期間が2023年4月1日以降の一定期間を含む乗車券（定期券・回数券）を、2023年3月31日までに購入した場合の運賃はどうなるのか？

A 8. バリアフリー料金適用前に購入された通用期間が2023年4月1日以降の一定期間を含む乗車券（定期券・回数券）については、購入日時点での運賃で発売します。

Q 9. バリアフリー料金を使用して、どのような整備を進めていくのか？

A 9. 全駅への可動式もしくは固定式のホーム柵の設置や、駅の構造上の問題から当社線内で唯一、バリアフリールートの確保が困難であった中津駅にエレベーター等を設置することを予定しています。

Q 10. 車内の防犯カメラ等、車内および車両の防犯設備は増えるのか？

A 10. この度の鉄道駅バリアフリー料金制度を利用した鉄道駅及び車両内の防犯設備の増設は、制度の対象外であるとの見解が国から示されております。ご了承ください。

Q 1 1. バリアフリー料金で整備した施設情報(設置場所および費用)は開示してくれるのか?

A 1 1. 毎年整備計画を更新して公開いたします。

Q 1 2. 利用者に対するバリアフリー料金の収支報告はされるのか?

A 1 2. 前年度までの整備計画の進捗状況は、毎年6月末までに公開する予定です。

以 上